

全国森林計画の策定について

平成25年4月

林野庁

— 目次 —

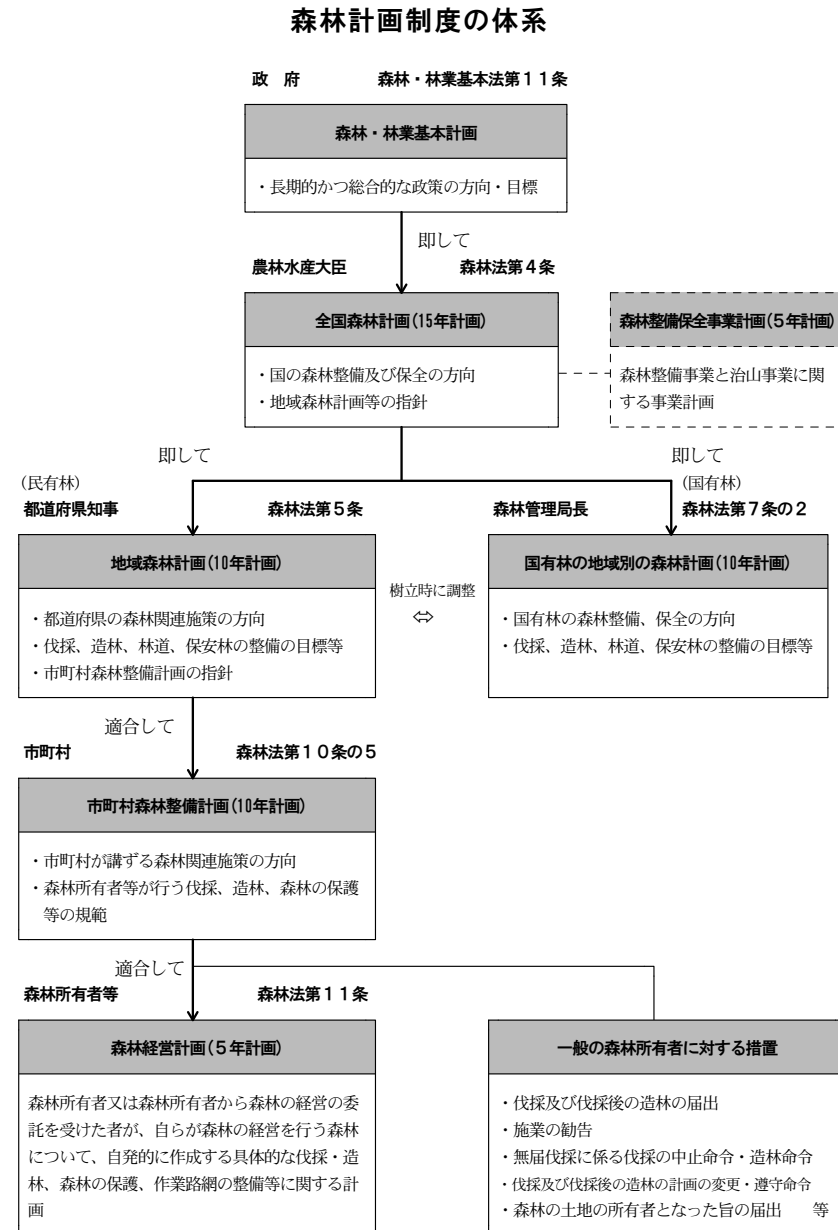
1. 全国森林計画の趣旨
2. 策定スケジュール(案)
3. 現行計画の策定・変更の経緯
4. 現行計画の計画量と実績値
5. 新たな全国森林計画について

(参考) 森林資源現況調査(H24.3月末)の速報値

1. 全国森林計画の趣旨

全国森林計画は、農林水産大臣が、森林法第4条の規定に基づき、森林・林業基本計画に即し、5年ごとに15年を1期として、森林の整備及び保全の目標、森林施業、林道の開設、森林の土地の保全、保安施設等に関する事項を明らかにする計画。

広域的な流域(44流域)ごとに森林の整備・保全の目標、伐採立木材積、造林面積、保安施設等の計画量を明示することなどにより、都道府県知事が策定する「地域森林計画」、森林管理局長が策定する「国有林の地域別の森林計画」の指針となる計画。



2. 策定スケジュール(案)

4月26日	林政審議会 (全国森林計画の策定スケジュール等の提示、諮問)
7月頃	林政審議会 (全国森林計画の素案の提示)
7月頃～	パブリックコメントの実施
9月頃	林政審議会 (全国森林計画(案)の答申)
10月頃	閣議決定

3. 現行計画の策定・変更の経緯

○現行計画の策定(平成20年10月21日閣議決定)

(計画期間は平成21年4月1日～平成36年3月31日の15年間)

○新たな森林・林業基本計画の策定(平成23年7月26日)に伴う変更

新たな森林・林業基本計画の考え方に即し、

- ・ 計画量(伐採立木材積、造林面積等)の見直し
- ・ 国民各層に分かりやすいものとなるように構成を見直し
- ・ 3機能区分をやめ、地域主導で発揮を期待する機能ごとの区域を設定する仕組みへ転換
- ・ ルール・ガイドラインとしての内容の充実(伐採、造林等の基準)の変更を行った。

4. 現行計画の計画量と実績値

区 分		現行計画(A)	実績(B)	B/A
伐採立木材積 (万m ³ /年)	総 数	4,601	4,369	95
	主 伐	1,955	1,641	84
	間 伐	2,647	2,728	103
造林面積 (千ha/年)	人工造林	57	27	48
	天然更新	58	50	87
林道開設量(千km/年)		6.1	1.8	30
保安林の指定面積 (千ha) ※計画期末	総 数	12,811.5	12,053.3	94
	水源かん養	9,674.1	9,100.3	94
	災害防備	3,072.2	2,911.1	95
	保健、風致の保存等	856.4	788.3	92
治山事業施行地区数(百地区/年)		20.7	14.5	70
間伐面積(千ha/年)		520	560	108

注:1 実績は、保安林は平成23年度末、それ以外は平成20年～23年度の4年間(治山事業施行地区数は、平成19年～23年度の5年間)の年平均を計上。
2 保安林面積の総数欄は、2以上の目的を達成するために指定する保安林があるため、内訳の合計に合致しない。

現行計画の計画量は、計画期間15ヶ年間の平均であり、計画量と現行計画の実績値とは単純に比較できないことに留意する必要がある。

5. 新たな全国森林計画について

(1) 計画期間

平成26年4月1日から平成41年3月31日の15年間
(現行計画は平成21年4月1日から平成36年3月31日)

(2) 策定にあたっての考え方

平成23年に策定された新たな森林・林業基本計画に即し全国森林計画の変更を行っていることから、今回の策定に当たっては、新たな計画期間に応じた計画量の算定等を行う。

(参考)

森林資源現況調査(H24.3月末)の速報値 (その1)

森林資源現況調査は、我が国の森林資源の状況を把握することを目的に、全国森林計画の策定に併せて実施。

○森林資源の現況(平成24年3月31日現在)

平成24年3月31日現在の我が国の森林の総面積は、2,508万haで、このうち、育成単層林は、1,028万ha(森林総面積に対する割合は41%)、育成複層林は、101万ha(同4%)、天然生林は、1,379万ha(同55%)となっている。

森林の蓄積は、49億01百万m³で、このうち、育成単層林は、30億28百万m³(森林総蓄積に対する割合は62%)、育成複層林は、1億64百万m³(同3%)、天然生林は、17億09百万m³(同35%)となっている。

(単位:面積 万ha、蓄積 百万m³)

区 分		総 数	育成単層林	育成複層林	天然生林	
面 積	総 数	2,508	1,028	101	1,379	
	民有林	計	1,741	798	49	894
		公有林	292	125	18	149
		私有林	1,449	673	31	745
	国有林	計	767	230	52	485
		林野庁所管	761	230	52	479
		他省庁所管	6	1	0	6
蓄 積	総 数	4,901	3,028	164	1,709	
	民有林	計	3,749	2,567	86	1,096
		公有林	558	342	30	185
		私有林	3,191	2,224	56	911
	国有林	計	1,152	461	78	613
		林野庁所管	1,146	460	78	608
		他省庁所管	6	1	0	4

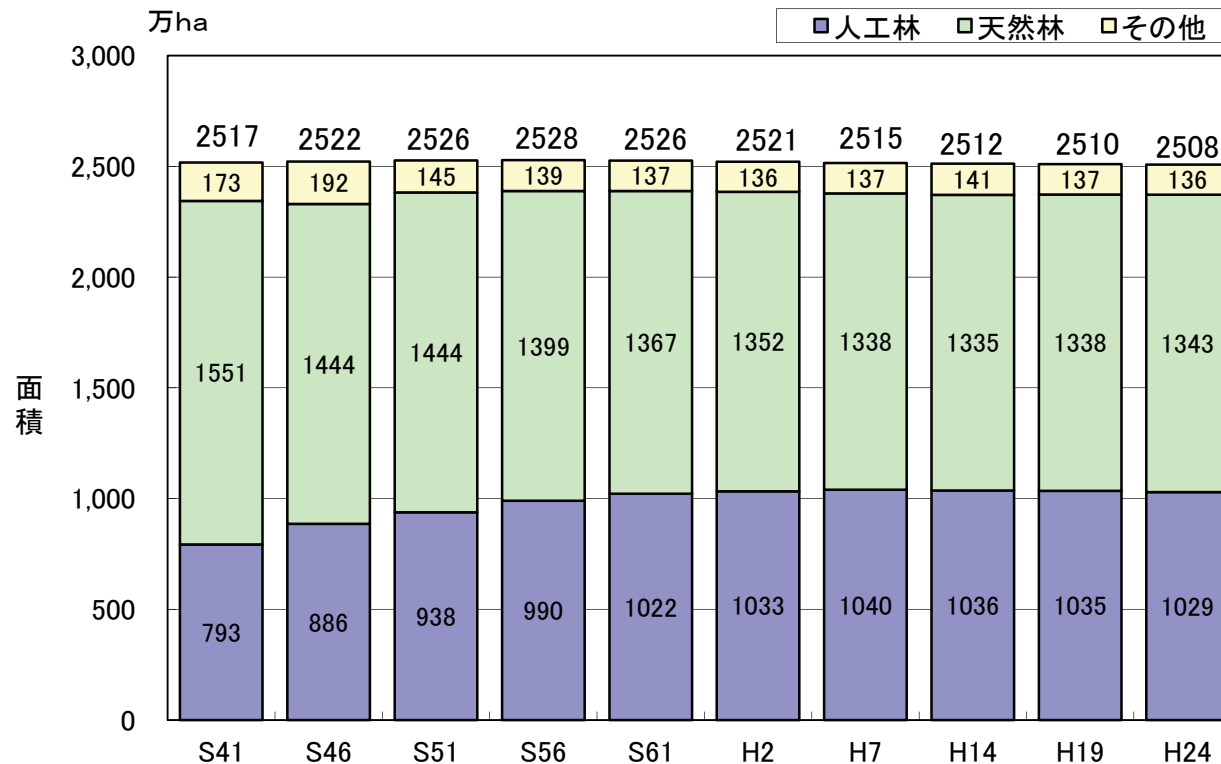
注1:天然生林には、伐採跡地、未立木地、竹林を含む。

注2:単位未満の数値を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合がある。

森林資源現況調査(H24.3月末)の速報値 (その2)

○森林面積の推移

森林の総面積は、ほぼ横ばいで推移している。



注:その他は、伐採跡地、未立木地、竹林である。

○森林の区分別面積

森林の区分別面積については、育成単層林、育成複層林、天然生林は微減、育成複層林は微増となっている。

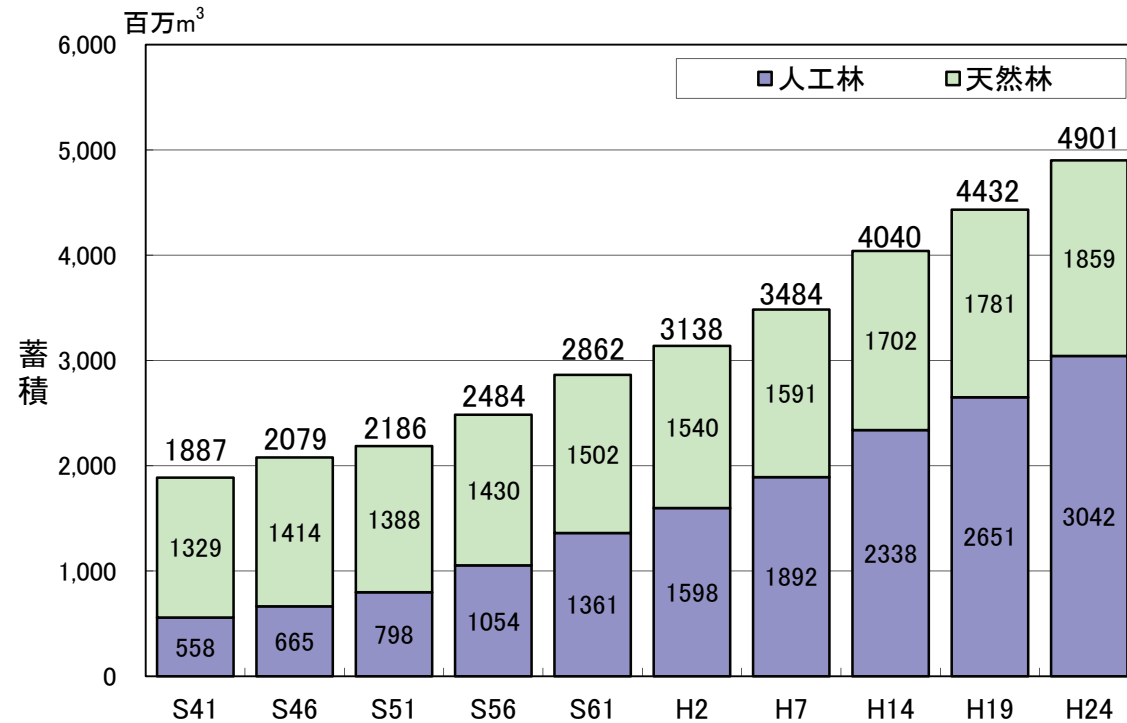
(単位: 万ha)

区分	平成19年	平成24年
育成単層林	1,031	1,028
育成複層林	96	101
天然生林	1,383	1,379
計	2,510	2,508

森林資源現況調査(H24.3月末)の速報値 (その3)

○森林蓄積の状況

人工林を中心に森林の蓄積は着実に増加し、我が国の森林の総蓄積は、約49億 m^3 となっている。



注: H19とH24は、都道府県において収穫表の見直し等精度向上(高齢級人工林の蓄積の見直し等)を図っているため、単純に比較できない。

○人工林の林齢別面積

人工林の成熟化が進んでおり、木材として本格的に利用可能となるおおむね50年生以上(高齢級)のものが、約5割を占めている。

